

スマホアプリで写真
をスキャンすると
カラー化します



COCOAR2

みんなの丹后帖

第8号 令和2年3月10日発行

男 2,449人 (平成末比△8人)

女 2,644人 (平成末比△29人)

合計 5,093人 (平成末比△37人)

「生きてる!丹後」その5

今回のテーマは謎の「モモガニ」。香住では「イボガニ」、柴山では「ブラガニ」と呼ばれています。

カニのモモちゃんガニ

カニにまつわる2回目の話題は「モモちゃん」についてです。競りに参加していた某さんが少しピンクがかったオスガニを指さし「あれはモモちゃん、値が安い。」と教えてくれました。写真がそのモモちゃんです。(写真1) 比較のため普通のズワイガニの写真も載せておきます。(写真2) 色は茶色っぽいズワイガニと赤いベニズワイガニとの間でピンク色で

す。甲幅が同じでもズワイガニの方がモモちゃんに比べ、ハサミが大きい。

調べてみるとこのモモちゃん、ズワイガニとベニズワイガニとの間にできた雑種(ハイブリッド)でした。ズワイガニは水深200m~400m、ベニズワイガニはそれよりも深い500m~2000mに生活し、すみ分けています。でもその境目付近では互いに交雑すると考えても不思議ではありません。

交雑の結果、生まれたのが「モモちゃん」です。メスのモモちゃんはタマゴを持つことがほとんどないので2代目「モモちゃん」誕生の可能性は少ないと考えられています。従って交雑により生まれた「モモちゃん」ガニが増えていくことはないようです。この「モモちゃん」、身が柔らかく味も淡泊なので商品価値は低いようです。(モモちゃんのオスガニもハサミが小さく、満身にメスガニと交尾できるか疑問です。)

黄金ガニというズワイガニの存在がテレビなどでにぎわっていたことがあります。ズワイガニのオスとベニズワイガニのメスとのハイブリッドらしい。

とすると、モモちゃんはベニズワイガニのオスとズワイガニのメスとのハイブリッドなのだろうか。それぞれの遺伝子を確認し、そのことをぜひ確かめて戴きたいと思いますがどうでしょうか。

自然観察指導員 瀬川 信一



(写真1) モモちゃん



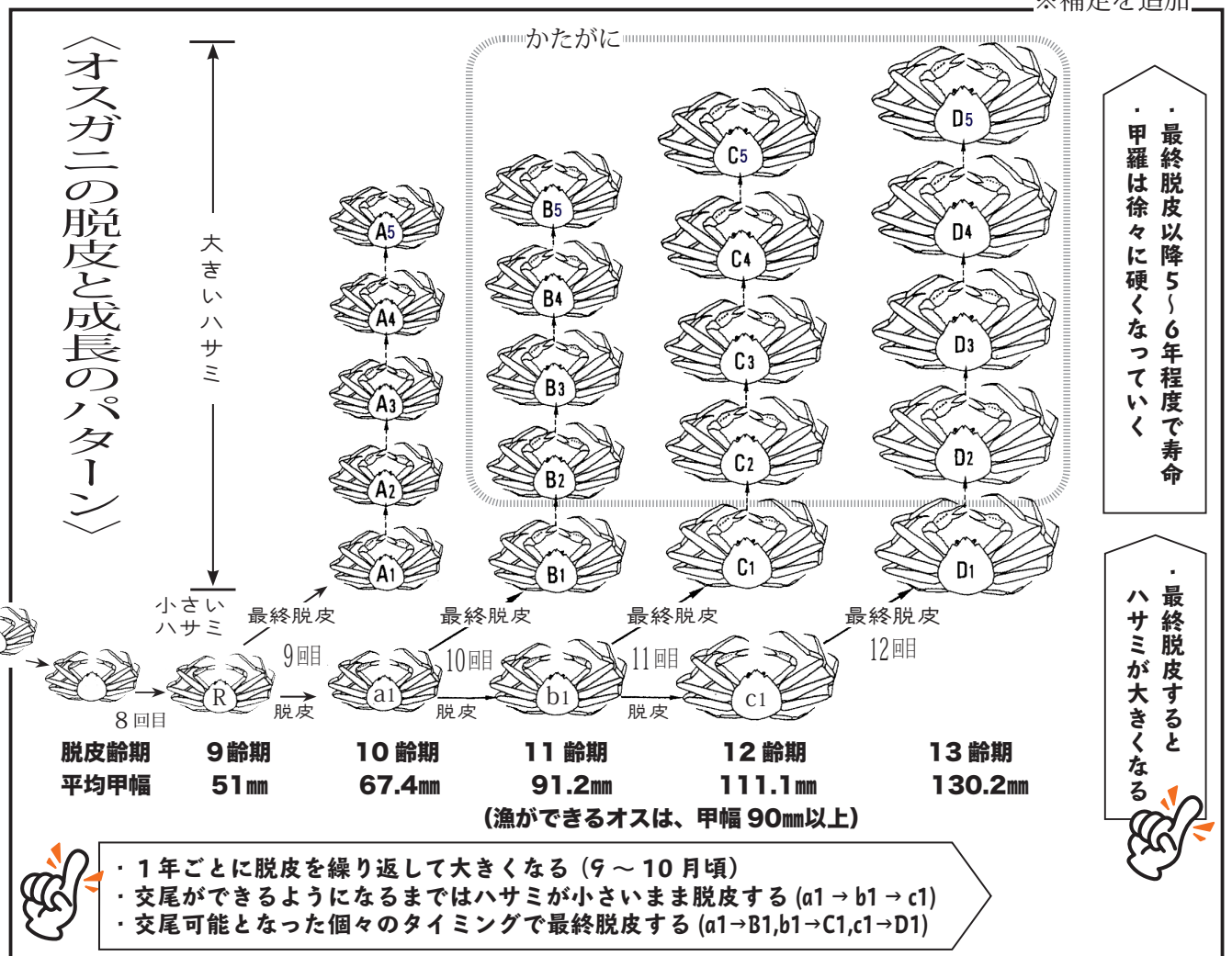
(写真2) 普通のズワイガニ

「生きてる!丹後」その4 (続き) ...前回「オスガニの脱皮について」の図が未掲載でしたので後半部記述とともに掲載します。

※図は一部加工
※補足を追加

(前回途中から再掲載) オスガニが体内に精子を持ち、交尾が可能になったかどうかはハサミの大きさで判別できるそうです。大きなハサミを持つオスガニは体内に精子を作ることにエネルギーを費やすため、それ以降の脱皮は行いません。このことを見つけたのはカナダの海洋生物学者ワトソン氏。昭和44年のこと。カニもわれわれ人間と同様に成熟速度に個体差があります。いち早く成熟し、大きなハサミを持ったオスガニはそれ以上脱皮をしないので甲羅の大きさは小さく、成熟の遅れたオスガニは脱皮を繰り返すので大きな甲羅を持つに至ります。

その関係を京都府海洋センターのホームページに記載されている図で表示しておきます。(オスガニの脱皮と成長のパターン) ちなみにメスガニも処女ガニが交尾後、最終脱皮しからだがそれ以上大きくなならない理由もオスガニと同様に卵を作るのにエネルギーを注ぐためだと考えられています。



3月の予告 ゴシレンジャー

読み終わった新聞・チラシを箱ティッシュに交換します。

今月の古新聞回収日

3/20 (金)

午前9時～正午

間人地区
宇川地区

3/21 (土)

午前9時～正午

豊栄地区

午後1時～4時

竹野地区

京たんごりサイクルセンターが回収にまわります。

○開始時間までに玄関先に古新聞、チラシ等を配置ください。

○以下の方は、事前または事後にお電話ください

- ・本道から見えにくいお宅・車の通りにくいお宅 (事前)
- ・矢畑、井谷・鞍内、乗原地区で回収希望のお宅 (事前)
- ・時間を過ぎてても回収されなかったお宅 (事後)

みんなの俳句

春のお題の掲載には時期が少し早いかと俳人に尋ねると、俳句は少し早いぐらいがちょうどいいとのこと。勉強になります。

お題「丹後の春」

散歩する園児の笑顔風光る

大久保里美

永らえて過去は霞となりけり

川戸幸乃

岩壁に白波あげて丹後の春

久保若菜

全身で東風うけとめるランドセル

竹村美知子

春うらら丹後松島絶景なり

谷口恵美子

あばら家も桜一木あるだけで

永島富士子

東風読みて漁師鉢巻きしめ直す

山中貞一

※次回のお題は「丹後の晩春」。どしどしご応募ください。

各種投稿・古紙回収・書籍注文・その他お問い合わせ：「みんなの丹后帖事務局」(京都新聞産経新聞間人販売所)まで
TEL:090-9711-3530/FAX:0772-66-3948/Eメール taiza@kyoto-news.jp

電話1本で翌朝お届けします。代金は新聞代と一緒に引落し可能。

サンスポ特別版

「追悼 野村克也」

¥1300 送料



先着10名様に
マスク1週間分
プレゼント(当店限り)

-CONTENTS-

- 1 ありがとう 野村克也さん **網野出身の記者も登場**
- 12 南海ホークス時代
- 22 野球評論はこうして始まった
- 28 楽天作戦コーチ息子・克則さん
- 30 ヤクルト監督時代
- 40 阪神監督時代
- 45 シダックス監督時代
- 46 楽天監督時代
- 54 年表、年度別打撃成績、監督成績
- 56 初公開 秘蔵の野村ノート
- 62 二十歳のころ
- 66 私の失敗 **貴重です**
- 70 素顔のノムさん
- 76 ノムラIDの神髄
- 80 野村克也 金の言葉
- 84 サンスポ歴代担当記者が悼む
- 88 「ノムラの考え」渾身16選
- 106 エモヤんの「ノムラの記憶」

野村氏が専属評論家を務めたサンスポの特別版。努力と知恵で切り開いた栄光の人生をオールカラーで振り返る1冊です。初公開となる直筆の「野村ノート」や「スコア帳」は必見。ID野球や野村語録が出来上がる過程が垣間見える貴重なサンスポ独自の

秘蔵ノートです。ネットショップ「アマゾン」のベストセラー(野球雑誌部門)でありながら要所要所に丹後が登場するのが、丹後人としては面白いところ。野球人はもちろん、丹後人なら一家に一冊置いておくべき全114ページの永久保存版です。

タイムスリップ1979



間人地区町民運動会にて挨拶する野村克也氏(昭和54年10月/間人小学校)

丹語 京丹後市の名誉市民であり、プロ野球の名選手、名監督、名評論家として大活躍された野村克也氏が、先月逝去されました。網野出身の野村氏、峰山高時代には間人の友人宅によく遊びに来られたそう丹後町も思い入れのあった場所の一つだったようです。「間人に来てようけ飯食って帰った」などハングリーな当時のエピソードも伝わります▼上の写真は昭和54年の間人地区町民運動会の時のもの。野村氏が西武ライオンズに所属していた現役時代のシーズンオフに帰丹した時の写真です。格好より一日警察署長として招待されたようです▼今回掲載にあたり当初、撮影年月が不明だったため多くの方に尋ねましたが、不思議なことに、ほとんどの方の記憶にありませんでした。いつ来たところか、来たという事実さえも。町報たんごにも掲載されていません。野球関係者など一部の方は覚えていました。その年は不明。結局、縁のあった野球チーム「間人クラブ」OBのK氏と当時の間人小児童会長O氏、当時の野村をよく知る元網野町職員のI氏の記憶の一致により推定したという次第です。戦後初の三冠王など多くの記録を残し、王、長嶋などと肩を並べるプロ野球界の大偉人なのですが、当時のパリーグの不人気さがうかがえます▼さて最後に謎かけをしてみました。「現役時代の野村克也氏」と掛けまして「野村氏が他界された現在」と解きます。その心は「毎日マスクが必要」▼...ということ、今回サンスポ特別版「追悼野村克也」をお買い上げの方、先着10名様にマスクを無料進呈いたします。キヤッチャー用ではなくてキチョーな方です。念のため。